



虹のかけはし



〒528-0014

滋賀県甲賀市水口町鹿深3番39号

TEL：0748-62-0234（代） FAX：0748-63-0588 <http://www.kohka-hp.or.jp/>



当院の眼科について

眼科医長 三宅 太一郎

特色

当院では白内障、緑内障、糖尿病網膜症などの疾患をはじめ様々な疾患の診察を行っています。眼の状態について、なるべく判りやすい病状説明を心がけて診療に従事しています。

当院では手術は主に白内障手術を実施しています。白内障手術は日帰りで行う施設もありますが、当院では他院から紹介いただく重症例や全身疾患をお持ちの患者さんが多いですので全例入院で行っております。



診療内容

常勤医師3名、視能訓練士2名、看護師2名、事務員1名の体制で外来診察を行っています。一般外来は月曜日から金曜日まで毎日午前中に行っており、受付時間は午前8時から午前11時半です。予約診療も行っています。手術は午後に行っており、手術のない日の午後は予約制で「蛍光眼底検査」「弱視斜視検査」「レーザー網膜光凝固術」「外来手術」や「白内障術前検査、説明」などを行っております。

対象とする疾患

白内障、緑内障、網膜硝子体疾患（糖尿病網膜症、網膜剥離、黄斑円孔、黄斑前膜、等）、ぶどう膜炎、視神経疾患、涙道疾患、屈折・調節異常、外眼部疾患、小児眼科（斜視検査、弱視治療）など



→次項へ

1. 白内障…片眼なら5日、両眼なら12日の入院で行っております。
2. 緑内障…視野検査などで病状を把握し、点眼による治療をおこなっています。
3. 糖尿病網膜症…病状に応じて眼底検査を行い必要な場合は造影検査やレーザー治療を行っています。
4. その他の網膜硝子体疾患…診断を行い、点眼等で治療できる場合は行います。硝子体手術が必要な場合は関連病院である滋賀医大等へ紹介いたします。
5. ぶどう膜炎…全身検査を行った上で、必要に応じてステロイド剤の内服、点眼などで治療しています。



今年度から新しいメンバーを迎えましたので、ご紹介させていただきます！！

◎4月から地域連携室に配属となり、右も左もわからず退院調整・支援とは…を模索しながら日々勤務しています。介護保険制度が創設されてから12年が経ち、今では治療中心の病気医療から「生活者として地域に帰せる医療」を目指す時代になっています。

患者さん1人1人が「その人らしく」ご自宅で、毎日の生活を過ごし「家に帰ってよかった」と言って頂けるような退院調整・支援を目指して頑張っていきたいと思います。

退院調整係 看護師 長野 文子

◎2月から、地域医療連携部で勤務しています。不慣れの為、対応等でご迷惑をおかけする事もあるかと思いますが、紹介患者様の受付窓口担当の一員として頑張りたいと思います。

よろしく願い致します。

病診連携係 浅加 有紀

◎4月から甲賀病院に就職しました。病院に入るまでは、地域連携の部署になるとは全く思っていませんでした。でも、入社してしばらく経ち、地域連携の仕事は他の職種の方とも関わられるし、院外の方とのやりとりもあるので、面白いと感じられるようになってきました。

医療については、まだまだ知らないことが多いですが、勉強を重ねていきたいと思っています。患者さん、院外の病院・診療所の方の役にも立てるよう頑張っていこうと思います。

よろしく願いします。

病診連携係 山西 恒男



これからの退院支援と地域連携について

地域医療連携室長兼 副看護部長 寺村 幸子

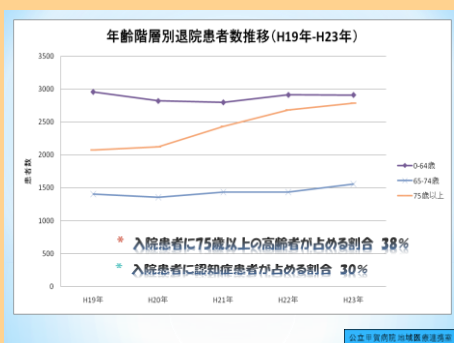
超高齢化社会を迎え、在院日数の短縮等で在宅療養者の重度化や介護保険利用者の高齢化、認知症の増加により、退院調整困難者は増加傾向にあります。当院も例外ではなく、図1に示す通り、平成19年から23年の5年間で入院患者に75歳以上の高齢者が占める割合は38%と増加し、さらに入院患者に認知症の占める割合は平成23年度で30%となっています。中には、一人暮らしの高齢者、老老介護、医療依存度の高い人などの在宅復帰困難な事例も多く、退院調整件数（図2）は年々増加し、退院支援と地域連携の重要性がますます高まっています。当院の現状として、入院患者の60%が14日以内に退院、80%は21日以内に退院と在院日数が短縮されてきています。地域医療連携室では、患者・家族の方に不安なく退院していただけるよう、2年前から退院調整看護師と社会福祉士の協働による退院調整に取り組んでいます。患者・家族の意向を大切にしながら、退院後の方向性（在宅方向・施設方向）の確認や看護、介護、福祉制度、入院費用などのご相談に応じています。

また、退院後の在宅生活や介護サービス利用がスムーズに行えるよう、介護支援専門員や地域包括支援センター等と連携し、開催した拡大カンファレンスの件数（図3）は平成22年度137件から平成23年度は225件と増加しており、カンファレンスは病院からと地域へと切れ目のない退院調整を多職種で行う上で連携の要であると考えています。そこで、甲賀圏域の中では地域連携検討会を毎月1回開催し、地域包括支援センターと協働で事例検討会や研修会を通じて地域における退院支援や在宅支援を検討しています。

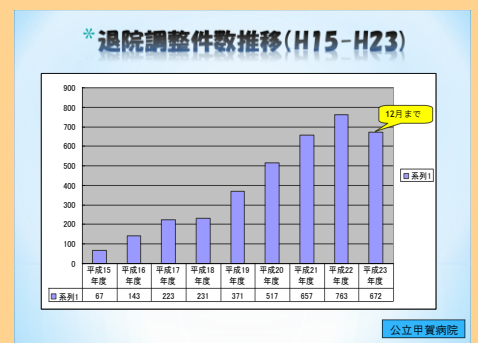
平成24年度は、介護支援専門員の方や訪問看護ステーションの方との横の連携を深めるための事例検討会を開催しています。5月21日には、介護支援専門員29名を含む計49名の参加があり、退院支援と地域連携に対する関心の高さを感じました。

今後も院内における退院支援と地域連携を推進するとともに、地域においても多職種による連携に力を入れていきたいと考えています。皆様のご協力をよろしくお願いします。

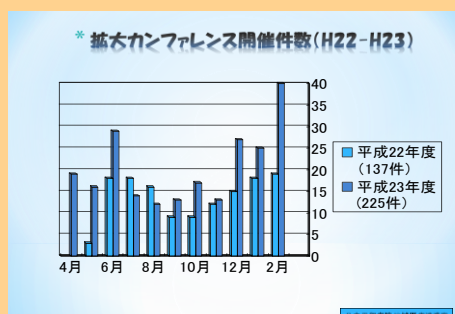
<図1>



<図2>



<図3>



第34回 健康講座が、4月14日（土）開催されました

in サンライフ甲西



今回の講座では「食べ物による乳幼児のアレルギー」をテーマとし、当院の岩井 義隆医師より講演をさせていただきました。

当日は、当初の参加申込人数より、多い70名のご参加をいただきました。

次回の参加もお待ちしています！！

次回の講座案内

① 市民公開講座

日時：平成24年6月16日（土）

時間：13時15分～14時15分

場所：サントピア水口 共同福祉施設
教養文化室

講師：遊墨漫画家・NPO癒しのほっ 代表
南 久美子 先生

内容：「疲れた心に いやしの点滴を」

② 健康講座

日時：平成24年7月7日（土）

時間：14時～15時30分

場所：甲賀市社会福祉ホール

内容：「あごの変形って治るの？」

講師：角熊 雅彦 医師

編集後記

平成24年度がスタートしました。数々の変化に慣れるのにご苦労されている方もおられることでしょう。

つかの間の休日、あぜ道を散策していると、黄色いタンポポや、綿帽子になったものを多く見かけます。きれいで、暑さや寒さ、周りの環境に馴染み、種はさらに多くの花を咲かせます。

ただ、畑をする人から言えば「厄介な雑草」かもしれません。根は強く、奥深くまで張りつめ、一筋縄では枯れません。でも、そんなタンポポみたいに強く、変化に柔軟に馴染んで、仕事やプライベートを充実させていきたいですね。（N）